

## ■財政健全化指標関係 公営企業会計資金不足比率の状況

### ○法適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	流動負債 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	流動資産 ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
水道事業	H30	476,806	0	1,598,707	△ 1,121,901	0	△ 1,121,901	627,080	-
	H29	124,275	0	1,177,812	△ 1,053,537	0	△ 1,053,537	625,096	-
病院事業	H30	1,572,477	149,459	1,433,836	288,100	0	288,100	6,091,982	4.7
	H29	1,338,508	121,669	1,475,939	△ 15,762	0	△ 15,762	6,164,531	-

### ○法非適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	小計 ④=①+②-③	解消可能 資金不足額 ⑤	資金不足額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
簡易水道事業	H30	1,314,125	0	1,508,536	△ 194,411	0	△ 194,411	476,749	-
	H29	1,675,072	0	1,737,080	△ 62,008	0	△ 62,008	512,748	-
集落排水事業	H30	415,893	0	433,624	△ 17,731	0	△ 17,731	100,690	-
	H29	401,766	0	419,591	△ 17,825	0	△ 17,825	99,627	-
公共下水道事業	H30	2,776,302	0	2,851,884	△ 75,582	0	△ 75,582	390,623	-
	H29	2,753,457	0	2,804,210	△ 50,753	0	△ 50,753	385,946	-
浄化槽整備事業	H30	279,786	0	314,599	△ 34,813	0	△ 34,813	42,670	-
	H29	257,071	0	279,025	△ 21,954	0	△ 21,954	41,187	-
市民太陽光発電所事業	H30	45,644	0	58,490	△ 12,846	0	△ 12,846	45,493	-
	H29	56,855	0	69,827	△ 12,972	0	△ 12,972	47,216	-

### ○法非適用企業(用地関係会計)

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳入 (繰越財源控除) ③	土地収入見込額 ④	地方債現在高 ⑤	長期借入金 ⑥	小計 ⑦=①+②-③ +(⑤+⑥-④)	解消可能 資金不足額 ⑧	資金不足額 ⑨=⑦-⑧	事業規模 ⑩	資金不足比率 ⑨/⑩
工業用地造成事業	H30	240,386	0	243,575	26,432	0	0	△ 29,621	0	△ 29,621	29,621	-
	H29	186,375	0	189,213	273,832	226,272	0	△ 50,398	0	△ 50,398	276,670	-
宅地造成事業	H30	22	0	44,842	1,534	0	0	△ 46,354	0	△ 46,354	46,354	-
	H29	22	0	44,862	1,712	0	0	△ 46,552	0	△ 46,552	46,552	-

※用地関係会計において、未売出となっている区画分の土地収入額は「0」となる。

※用地関係会計の小計は、①+②-③-④がマイナスであれば、⑤地方債現在高、⑥長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。

※用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。

※資金不足がある場合は、正の数値で表記。(黒字の場合はマイナス表記)